

第5回 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和7年4月9日（水） 午前9時00分から午前11時20分まで
開 催 場 所	南区役所7階701会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 八森 淳（株式会社メディコラボ研究所代表取締役） 委員 加藤 倫子（永田みなみ台地区社会福祉協議会会長） 山本 裕子（南永田山王台地区民生委員児童委員協議会会長） 深澤 幸子（南区老人クラブ連合会副会長） 高木 俊正（地域活動ホームどんとこい・みなみ施設長） 光永美代子（南区主任児童委員連絡会副代表） 佐々木哲夫（税理士法人TOS 佐々木会計代表理事・税理士） 【事務局】 南区福祉保健センター担当部長 鈴木 陽子 南区福祉保健課長 御小柴 朋子 南区福祉保健課事業企画担当係長 森山 梨香 南区高齢・障害支援課高齢者支援担当係長 野口 智子 南区福祉保健課事業企画担当 加藤 崇史、尾澤 悠菜
欠 席 者	あり（委員 平戸 善久（南区連合町内会長連絡協議会監事）
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者0人）
議 題	1 事前確認事項 2 応募団体の面接審査 （1）応募団体の面接審査 （2）本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 3 指定候補者の選定、講評
決 定 事 項	指定管理者の候補者として、次のとおり、横浜市南区長に報告することとする。 1 横浜市永田地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜社会福祉協会 次点候補者：なし 2 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし 3 横浜市浦舟地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

	次点候補者：なし
議 事	1 事前確認事項 (1) <u>委員会の公開・非公開</u> 応募団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第3回委員会で審議済み) ※なお、応募団体の面接（プレゼンテーション及びヒアリング）は、当該施設の他の応募団体を除き公開。 (2) <u>面接審査の進め方について</u> (事務局) ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 (委員) ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 (3) <u>応募団体の資格要件等について</u> (事務局) ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 2 応募団体の面接審査 (1) 面接審査 ア 横浜市永田地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 永田地域ケアプラザの圏域内の、地区特性から見える課題に対しどのような取組を行っているか教えてほしい。 (団体) A地区は地域に根差した住民が多く、気軽に連絡取り合える関係性が出来ている。 B地区は団地を中心としたエリアで高齢化率が高く、団地に常駐している相談員と連携を取り合っている。また、団地内の地域のコミュニティ拠点とも密に連携し、情報収集をしている。 C地区は人口が多く、地区の領域が広い。地域ケアプラザからは少し離れたエリアであるため、自分たちから出向くことが大切だと考えている。民生委員・児童委員協議会に職員が顔を出すことや事業を当該地区にて実施するなどの取組を行っている。

	(委員) 令和4年度決算にて赤字を計上しているが、理由を教えてください。 また、今後の見通しも教えてください。 (団体) 新型コロナウイルスの感染拡大が要因である。法人で、多くの入所・通所介護施設を抱えているが、不要不急の外出を控えることにより特別養護老人ホームの短期入所事業の縮小などが余儀なくされた。 その間、法人では職員の給与を下げず、賞与も満額支給した。コロナ禍において職員が大変な状況を支えてくれている中、覚悟の上で赤字を計上した。過去10年間で赤字を計上したのは、この年だけである。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後、施設稼働が安定したため、現在の収益も改善している。 (委員) 永田地域ケアプラザの圏域内での、障害児者に関連する活動や取組があれば教えてください。 (団体) 以前は障害児者を対象としたサロンがあったが、放課後等デイサービスが普及したことにより、サロンにくる児童が0人になってしまった。しかし、施設間の交流、会議の際に自主製品のお菓子を購入するなど、永田地域ケアプラザの圏域内の障害者施設等と密に連携を取っている。 イ 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 地域ケアプラザにおいて新たに始める取組があれば教えてください。 (団体) 早い段階で保育園に入所する子どもが多く、子育てサロンや自主企画事業に参加しづらい状況がある。区役所や地域ケアプラザ、親と子つどいの広場などと話し合い、こうした層に早い段階で子育て情報を提供することを目的とし、昨年度から「プレママ・プレパパ講座」を実施している。昨年度は平日に3回開催したが、参加者が少なかったため、今年度は土曜日に開催予定である。 (委員) 地域ケアプラザの所内で多領域に渡り、地域課題の分析や抽出ができていていると思うが、これらの課題を地域ケアプラザの所内で共有する仕組みがあれば教えてください。 (団体) 月1回の地域ケアプラザの所内会議に加えて、「6職種会議」を開催し、課題に対する取組をどのように進めるか検討を行っている。また、地域包括支援センターの3職種（社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師）でも、週1回以上会議を開催し、検討を行っている。 (委員) 地域活動の参加者や担い手の拡大、発掘について、良い事例があれば、教えてください。
--	--

	(団体) 地域の介護予防活動について、参加者が減少したという相談を受けた際、地区社会福祉協議会や地区センターと連携し、場所を借りるなど、広報協力を得ることで参加者が増えた。また、活動がマンネリ化しているという相談を受けた際、地域ケアプラザで実施している「椅子ヨガ」の活動とマッチングさせたこともある。 (委員) 地域ケアプラザで認知症対応型通所介護を実施していると思うが、利用者数や利用者の通所手段について教えてほしい。 (団体) 定員 12 名で週 1 回実施し、介護職員 3 名で対応している。利用者は送迎車で通所している。 ウ 横浜市浦舟地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 法人独自の地域アセスメントシートを作成しているとのことだが、地域アセスメントシートに基づき取り組んでいることを教えてほしい。 (団体) 自治会町内会ごとにアセスメントを行っており、自治会町内会が元々持っているポテンシャルを 6 職種で共有しながら、地域課題を抽出し、地域ケアプラザの事業に結び付けている。 (委員) シニア向けスマホ講座を、区内の高校と連携して実施しているとのことだったが、参加者の状況を教えてほしい。 (団体) 高校生ボランティア 2 名で参加者 10 名である。 (委員) 法人として複数の地域ケアプラザを運営しているメリットは、どのような点か教えてほしい。 (団体) 法人内に同じ職種が複数いる強みを生かし、専門的な研修を効果的に実施できている。また労務関係やLINE、災害時のシステム等についても法人本部で一括契約することにより、経費削減もできている。 (委員) 地域ケアプラザの圏域内には、ワンルームマンションが多く、また外国籍の住民が多いという地域特性に関する協議体を開催しているとのことだが、どのように進めているのか教えてほしい。 (団体) 3 月に第 1 回の協議体を開催し、民生委員や自治会町内会、マンションの管理人、高齢者住宅の援助員等に声かけし、37 名の参加で意見交換を行った。 また、協力的な民生委員に声掛けし、地域包括支援センターの職員と民生委員でマンションの管理人への訪問を始めた。中には、住民の声を受け止め、サロンを開催している管理人もいることが分かり、今
--	---

年度も取組を継続していく予定である。

(委員) 自身の所属施設において子ども食堂を実施しており、地域内に貧困問題を抱えた子どもが多いと感じているが、本当に必要としている方に提供できているか疑問に感じている。地域ケアプラザでは、どのようにアプローチを行っているのか教えてほしい。

(団体) 地域ケアプラザでは、主にひとり親家庭を対象としたフードパントリー事業を実施している。

利用者にコーヒーを提供し、気軽に話ができる場を設けることで、悩みを吐き出してもらうようにしているが、本当に必要な声を十分に拾えている状況ではないと感じている。

(委員) 地域ケアプラザの事業は、地域ニーズを拾い、課題に向けた新たな取組を進めることが必要だと思っているが、そのための人材育成やモチベーションの維持のために、どのようなことに工夫しているか教えてほしい。

(団体) 地域ケアプラザ所内で日頃からコミュニケーションを取るように心掛けている。地域ケアプラザの職員の個々の強みを引き出しながら、役割分担を進めており、会議等を活用し、話し合って決めるということを繰り返し行っている。また、地域の方からの一言を、細やかに情報交換するよう心掛けている。

法人としては元々、在宅福祉を支える理念によるボランティアから始まっている。地域ケアシステムの初期段階から関わっており、地域福祉のまちづくりを原点にしている。こうした理念を、研修の中でも伝えるようにしている。

(2) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

事務局より本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

佐々木委員より財務分析結果報告書について説明。

3 指定候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市永田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補 者	社会福祉法人 横浜社会福祉協会	1,229／1,625 点	1,219／885 点

次点候補者	なし	-	-
-------	----	---	---

(審査講評)

応募団体は地域ケアプラザ圏域内の地域特性の分析に基づく事業展開ができており、何が大切で、何に取り組む必要があるかをしっかり把握していると感じられた。また、アウトリーチを大切にし、必要な方に必要なサービスを提供できている点が評価できる。

コロナ禍に財政赤字を計上した際にも、給与水準や人員体制を維持する等、職員を大切にする法人の姿勢が良いと感じられた。

(2) 横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜市福祉サービス協会	1,393／1,675 点	1,315／915 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

応募団体は地域福祉・地域づくりを理解し、地域アセスメントを丁寧に行った上で取組を展開しているなど、PDCAサイクルの検討を丁寧に行っており、それが仕組みとして位置づけられ、各種団体とも連携が取れていると感じられた。また、プレゼンテーションの中で今後5年間のプランの説明があったのが、前向きで素晴らしいと感じた。

法人として複数の地域ケアプラザを展開しており、横断的な研修が展開できていることも評価できる点である。

(3) 横浜市浦舟地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜市福祉サービス協会	1,370／1,675 点	1,308／915 点
次点候補者	なし	-	-

(審査講評)

応募団体は地域ケアプラザ圏域内の地域の特性や課題を分析した上で、他施設とも連携しながら、幅広い分野において細やかな取組が行われており、先を見据えた先駆的な事業展開がされている。また、地域ケアプラザへの相談件数が多いのは、役割の周知がされており、相談を受けてもらえると信頼を得てい

	ることの表れではないかと感じられた。 地域ケアプラザ圏域内の地域特性を踏まえ、ワンルームマンションを対象とした取組を進めており、民生委員と上手く連携し、事業展開ができていることは評価できる点である。 各応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜社会福祉協会他を指定候補者として選定することを決定する。
資 料 ・ 特 記 事 項	<u>1 資料</u> 資料1 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員・事務局名簿 資料2 横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱 資料3 横浜市南区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱 資料4 指定管理者審査方法・採点方法・最低制限基準・得点等について 資料5 応募団体の財務状況に係る税理士からの意見書 <u>2 特記事項</u> 特になし